ZEPHYROS

ゼフュロス　No.38

The National Museum of Western Art, Tokyo　国立西洋美術館ニュース

ISSN1342-8071

ヨハネス・フェルメール《レースを編む女》1669年−1670年頃
© RMN / © Gérard Blot / distributed by DNPartcom

国立西洋美術館開館50周年記念事業／日本テレビ開局55年記念事業

ルーヴル美術館展　17世紀ヨーロッパ絵画

LES RÉVOLUTIONS DE L'ÂGE CLASSIQUE : LA PEINTURE EUROPÉENNE DU XVII^{ème} SIÈCLE DANS LES COLLECTIONS DU MUSÉE DU LOUVRE

会期:2009年2月28日（土）〜6月14日（日）

主催:国立西洋美術館、ルーヴル美術館、日本テレビ放送網、読売新聞東京本社

「黄金の世紀」と称される17世紀は、多彩な才能に恵まれた画家たちを輩出した世紀です。レンブラント、ベラスケス、フェルメール、ルーベンス、プッサン、クロード・ロラン、ジョルジュ・ド・ラ・トゥール・・・。その名前を並べただけで、誰もが夢心地になることでしょう。ヨーロッパ規模で宗教戦争が広がり、新教徒と旧教徒が対立したルネサンス時代に比べると、17世紀は絢爛豪華で、勝利を誇る時代のように見えます。教皇の支配下にあったローマでバロック芸術が生まれ、フランスの「太陽王」ルイ14世に象徴されるように、繁栄し、芸術が開花した時代です。しかしそれは、あまりにも一方的で単純化された見方と言えないでしょうか。

ルーヴル美術館展　17世紀ヨーロッパ絵画

the national museum of western art, tokyo

本展では、「黄金の世紀とその知られざる陰の部分」を写しだします。

クロード・ロラン《クリュセイスを父親のもとに返すオデュッセウス》
1644年頃
© RMN / © Droits réservés / distributed by DNPartcom

「黄金の世紀」には多くの陰が存在しました。庶民は戦争、悲惨、飢饉といった「共通の宿命」を背負い、それは「黄金の世紀」の対極をなす「青銅の世紀」とも言うべきものでした。こうした現実は、絵画に鮮やかに表現されています。

本展では、「大航海、西洋文明と異文化の対決、科学革命の世紀」を絵画で具体的に示します。

ジョルジュ・ド・ラ・トゥール《大工ヨセフ》1642年頃
© RMN / © Gérard Blot / distributed by DNPartcom

また、17世紀、人々は大航海時代を迎え、かつてないスケールで遠方の国々に旅し、交易をおこないました。そして、この時代はまた、デカルト、ガリレオ、ニュートンら科学者が活躍しました。「科学革命の世紀」でもあったのです。

本展では、「聖人の世紀の宗教的側面とその古代文明の継承」を示します。

新旧の宗教的対立は一応の終結を見たものの、17世紀はカトリックもプロテスタントも新たな宗教活動に情熱を燃やしていました。17世紀は「聖人の世紀」とも呼ばれ、聖人たちが信者の間近にいるかのような姿が数多く描かれました。忘れてならないのは、当時のキリスト教は古代文化に深く根差し、したがってこの時代の絵画もまた、古代文化の偉大で奥深い伝統を継承したものであったという事実です。

「ルーヴル美術館展　17世紀ヨーロッパ絵画」は、上記した3つのキーワード、すなわち、「黄金の世紀とその陰」、「大航海と科学革命」、「聖人の世紀における古代文明の遺産」で17世紀を読み解きます。ルーヴル美術館に所蔵される優れた71点の絵画から構成されるこの度のルーヴル美術館展は、ヨーロッパの17世紀という時代を絵画で再構成するというユニークな試みです。それは17世紀を網羅的に総覧するのではなく、創造力に溢れ、力強く、陰影に富んだ当時のヨーロッパの一側面を浮かび上がらせることになるでしょう。

（国立西洋美術館　広報）

グェルチーノ《ペテロの涙》　1647年
© RMN / © Daniel Arnaudet /
distributed by DNPartcom

◆「ルーヴル美術館展　17世紀ヨーロッパ絵画」観覧料

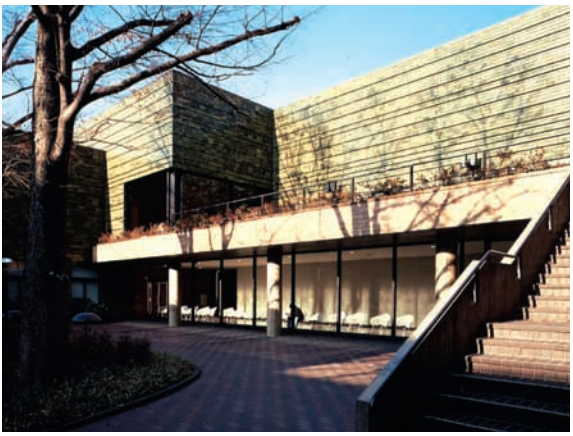
一　般…… 1,500円（1,300円）
大学生…… 1,200円（1,000円）
高校生…… 800円（　650円）
中学生以下…… 無　料
※（　）内は20名以上の団体料金

新館リニューアル

日本の近代建築の発展を導いた前川國男の設計による国立西洋美術館新館は、1979年の竣工以来、常設展および企画展の会場として多くの方々に利用されるとともに、作品と資料の収蔵管理のための中枢的な役割を果たしています。1998年に企画展示館がオープンした後は、松方コレクションをはじめとする19世紀・20世紀の所蔵作品が、新館の展示室で常時公開されるようになりました。

現在行われている新館の改修工事は、空調設備を全面的に更新して、所蔵作品を永く保存するための施設環境を向上させ、大きな災害などの非常時にも対応できるような体制を整えることを目的としています。それと同時に、新館展示室の内装と照明システムも一新され、より明るくシンプルな空間の中で所蔵作品をご覧いただけるようになります。

この改修工事に伴い、一昨年9月から新館を閉鎖して、本館と前庭のみに縮小した常設展を行っています。また、工事終了後、本館・新館の両方にわたる大規模な展示替え作業を行うため、今年5月11日から6月3日まで、常設展示室はすべて閉室となります。ひと月近く当館のコレクションをご覧に入れられないことは心苦しい限りですが、皆様のご理解をお願いするとともに、本館展示室と新装成った新館展示室とをあわせて6月4日にリニューアル・オープンする常設展にご期待いただきたいと思います。　（学芸課長　村上博哉）



中庭から見た新館（改修前）

改修中の新館展示室

国立西洋美術館開館50周年記念事業
展覧会・イベントスケジュール

展覧会

ルーヴル美術館展
－17世紀ヨーロッパ絵画－
2月28日（土）～6月14日（日）

古代ローマ帝国の遺産
－栄光の都ローマと悲劇の街ポンペイ－
9月19日（土）～12月13日（日）

フランク・ブラングィン展
2010年2月23日（火）～5月30日（日）

フランク・ブラングィン
《松方幸次郎氏の肖像》19世紀
木炭、パステル、紙／47.5×37cm
国立西洋美術館蔵 © David Brangwyn

OPEN museumプログラム

小企画展
「ル・コルビュジエと国立西洋美術館」
6月4日（木）～8月30日（日）

「所蔵版画展（仮称）」
7月7日（火）～8月16日（日）

open museum
国立西洋美術館
OFFICIAL PARTNER EPSON

小企画展　「ローマ、未来の原風景（仮称）」
9月19日（土）～12月13日（日）

小企画展　「所蔵水彩素描展（仮称）」
2010年2月23日（火）～5月30日（日）

ファミリー・プログラム どようびじゅつ「ワンだふる・びじゅつかん」
3月14日（土）／28日（土）、4月11日（土）／25日（土）、5月9日（土）

当館の常設展にある絵や彫刻を、みんなで一緒に楽しむ鑑賞と創作がセットになった体験型のプログラムです。

＊詳細は当館ホームページをご参照ください。
http://www.nmwa.go.jp/jp/events/family.html

昨年の「どようびじゅつ」体を使って彫刻になりました

FUN　DAY
7月11日（土）・12日（日）

当館を終日開放する日です。子どもから大人までが参加できる様々なプログラムをご用意します。

Museum X'mas in 国立西洋美術館「美術館でクリスマス」冬
◆ガーデン・イルミネーション　◆来館者プレゼント
◆クリスマス・プログラム「絵でたのしむクリスマス」「クリスマス・キャロルコンサート」

※詳細については、今後当館ホームページ（http://www.nmwa.go.jp/）等でご案内いたします。

the national museum of western art, tokyo

「ルーヴル美術館展　17世紀ヨーロッパ絵画」展に関連して下記のプログラムを実施しますので、ぜひご参加ください。

◆記念講演会

① 2月28日（土）14:00〜15:30
ブレーズ・デュコス（ルーヴル美術館絵画部キュレイター）
「古典主義時代の変革―新しい「黄金の世紀」のために」

② 3月7日（土）14:00〜15:30
羽田　正（東京大学教授）
「17世紀ヨーロッパに流れ込んだアジアのモノ」

③ 4月4日（土）14:00〜15:30
木村　三郎（日本大学教授）
「詩人マリーノと版画家ブリオ―プッサンとその初期作品の諸問題」

④ 4月25日（土）14:00〜15:30
石鍋　真澄（成城大学教授）
「万人の祖国ローマ　17世紀美術におけるローマの役割」

⑤ 5月16日（土）14:00〜15:30
幸福　輝（国立西洋美術館シニア・キュレイター）
「17世紀オランダ絵画の内と外」

※講演会のタイトルは変更されることがあります。

会　場	国立西洋美術館講堂
定　員	各回先着145名（聴講無料。ただし、展覧会の鑑賞については別途観覧券が必要です。）
参加方法	当日12:00より、館内インフォメーションにて聴講券を配付します。なお、会場の講堂へは企画展改札（地下1階）を通過する必要があり、聴講券のみで通過いただけるのは13:30以降となります。（開場時間は各日共13:30）

◆スライドトーク

当展覧会のみどころや主な作品について、夜間開館を行っている下記の金曜日にスライドを使った解説を行います。

日　時	3月6日（金）、3月27日（金）、4月10日（金）、4月24日（金） 5月8日（金）、5月22日（金）　　毎回18:00〜（約40分）
解　説	高城靖之（本展覧会アシスタント・慶應義塾大学大学院）
会　場	国立西洋美術館講堂
定　員	先着145名（展覧会観覧券が必要です。） ＊直接講堂にお越しください。

展示カレンダー［企画展示/常設展示］2009年2月～2009年7月

常設展示（本館）
ロダンの彫刻と、中世末期から18世紀末頃までのオールド・マスターの絵画、モネ・ルノワールなどのフランス近代絵画と20世紀初頭までの絵画を展示しています。
（常設展示室を一部閉室しております。展示作品については、館内インフォメーションでおたずねいただくか、当館ホームページをご覧ください。）

●常設展示室閉室のお知らせ●
新館設備改修工事、館内整備等のため、次のとおり常設展示室を閉室いたします。
2007年9月～2009年5月10日（日） 一部閉室（本館のみ常設展をご覧いただけます。）
2009年5月11日（月）～6月3日（水） 全室閉室（常設展はご観覧いただけません。）

●全館休館・臨時休館のお知らせ●
館内点検・展覧会開催準備のため、2009年2月27日（金）は臨時休館いたします。
常設展示替えのため、2009年8月31日（月）～9月3日（木）の期間、全館休館いたします。
来館者の皆様にはご不便、ご迷惑をおかけいたしますこと、心よりお詫び申し上げます。何卒ご了承いただきますようお願い申し上げます。

休館日　土日・祝日

2 FEBR

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28

国立西洋美術館開館50周年記念事業／日本テレビ開局55年記念事業●
ルーヴル美術館展 17世紀ヨーロッパ絵画
（企画展示室）2月28日（土）～6月14日（日）

館内点検・展覧会開催準備のため臨時休館　2月27日（金）●

3 MARC

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

国立西洋美術館開館50周年記念事業／日本テレビ開局55年記念事業
ルーヴル美術館展 17世紀ヨーロッパ絵画（企画展示室）2月28日（土）～6月14日（日）

4 APRI

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

国立西洋美術館開館50周年記念事業／日本テレビ開局55年記念事業
ルーヴル美術館展 17世紀ヨーロッパ絵画（企画展示室）2月28日（土）～6月14日（日）

5 MAY

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

新館設備改修工事、館内整備等のため、全室閉室（常設展はご観覧いただけません。）5月11日（月）～6月3日（水）
※5月12日（火）～6月3日（水）の期間中に「ルーヴル美術館展」をご観覧の方には、常設展関連のプレゼントをご用意しております。

国立西洋美術館開館50周年記念事業／日本テレビ開局55年記念事業
ルーヴル美術館展 17世紀ヨーロッパ絵画（企画展示室）2月28日（土）～6月14日（日）

6 JUNE

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30

新館設備改修工事、館内整備等のため、全室閉室（常設展はご観覧いただけません。）5月11日（月）～6月3日（水）
※5月12日（火）～6月3日（水）の期間中に「ルーヴル美術館展」をご観覧の方には、常設展関連のプレゼントをご用意しております。

●新館リニューアル・オープン
ル・コルビュジエと国立西洋美術館（本館19世紀ホール、新館2F版画素描展示室）6月4日（木）～8月30日（日）
ルーヴル美術館展 17世紀ヨーロッパ絵画
（企画展示室）最終日6月14日（日）

7 JULY

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

所蔵版画展（仮称）（企画展示室）7月7日（火）～8月16日（日）
ル・コルビュジエと国立西洋美術館（本館19世紀ホール、新館2F版画素描展示室）6月4日（木）～8月30日（日）
FUN DAY 7月11日（土）、12日（日）

※展覧会名、会期、内容等は変更されることがあります。

●お知らせ●
チケット売場、館内施設（常設ミュージアムショップ、カフェ「すいれん」）でSuica、各種クレジットカードがご利用いただけます。（ただし、一部除外品がございます。）
詳細については、当館ホームページをご覧ください。

国立西洋美術館
- 所在地…〒110-0007　東京都台東区上野公園7-7
- 開館時間
  通常…午前9時30分～午後5時30分
  （ただし、2月26日（木）までの開館期間中…午前9時30分～午後5時）
  毎週金曜日…午前9時30分～午後8時
  *入館は閉館の30分前まで
  休館日…月曜日（月曜日が祝日あるいは振替休日となる場合は翌火曜日。ただし、5月4日（月）は開館）、2月27日（金）
- 常設展無料観覧日…毎月第2、第4土曜日、文化の日（11月3日）
- お問い合わせ…ハローダイヤル：03-5777-8600
  http://www.nmwa.go.jp/

※ 誌名について…「ZEPHYROS」（ゼフュロス）はギリシャ神話の神々のひとりで、西風を司る神様の名前です。西欧では暖かさと色さまざまの花々を運ぶ春の風をさします。

ZEPHYROS
ZEPHYROS　第38号
編集・発行　国立西洋美術館/平成21年2月20日（年4回発行）
協　　力　（財）西洋美術振興財団
印　　刷　（株）アイネット

2009年、国立西洋美術館開館50周年。

国立西洋美術館
The National Museum of Western Art